

1 学期終業式

令和5年7月20日

いよいよ夏本番です。双星高校の上空もすっかり夏空です。

終業式も猛暑が予想されたため、体育館ではなく、各教室に配信する形で実施しました。校長式辞に続いて、生徒指導部長の先生から、5つの話がありました。

- ・休業中を通して規則正しい生活を送ること
- ・計画的に自主的に学習を進めていくこと
- ・迷惑行為（人の嫌がる行為、SNS上でのトラブル等）がないようにすること
- ・いろいろな誘惑が多い夏、違法行為のないようにすること
- ・何かあればすぐに学校に相談・連絡すること

健全な生活を送り、成長の多い夏となることを心から願っています。



1 学期終業式 式辞

おはようございます。

今日は、1学期の始めに話したことの続きを少し述べたいと思います。

皆さんは、日ごろ、入試、入社試験、部活動等、それぞれの目標を持ち努力している。それはとても大事なことです。しかし、その日頃の目標が人生の最終的な目的ではない。人が生きる目的は何か、私は「社会に貢献すること」だと考えているという話を1学期の最初にさせてもらいました。だからこそ、人に役に立った時喜びを感じます。「社会貢献」「自己実現」の両立こそが大事だともと言いました。

では、どのようにして、社会に貢献していくのでしょうか。
私は大きく2つあると思います。

1つは、もちろん、自分のついた職業、仕事において、貢献していくことです。

人間社会は、社会にとって必要なすべての事柄を、役割分担して行うことで成り立っています。その1つ1つの社会に必要な役割が職業です。皆さんがよく知る身近な職業から、おそらく知らない専門的な、あるいはあまり目立ちたくない職業まであります。どの職業も、それがなくては社会が成り立ちません。人間は、過去から、職業の中で、新たな価値を想像したり、課題を解決したりすることで、世界を発展させてきました。役割をよりよく果たすことで、社会をよくしていこうと努力するから、その人も成長し、世は発展していくのです。

そのような志を持っている以上、職業に上下や貴賤はありません。年齢や立場も関係なく世のため人のために流す汗は尊いものです。これが、自分のためだけに、自分の利益、損得ばかり追求しだすと、目的がおかしな方へいってしまうわけです。

ところで、どうすれば、自分が成長でき、自分らしく社会に貢献できる職業につけるのでしょうか。このことで悩まない人はいません。誰もがぶつかる問題です。

しかし、それは自分で決めるしかないのです。誰かに決めてもらうものではない。自分の人生なので自分の責任で決めるものなのです。

しかし、どうやって決めるのか？悩みますよね。そこで、1つヒントになる話を紹介します。

今年の東京大学の入学式で、国際機関のグローバルファンドの馬淵 俊介さんが、来賓として祝辞を述べられました。その中の一部を紹介します。

馬淵さんは、ご自分が、大学の休みを使って、途上国を一人で旅したこと、しかし、旅の道中で、子どもが病気になっても医者も薬もない等、理不尽な現実を目の当たりにして、人々が幸福に生きるサポートをしたいと思うようになり、それが現在の職業につながっていると話されました。そして、「夢」について、2つの話をされました。

1つ目は、夢に関わる、心震える仕事をして欲しいというお話でした。自分の夢に関わる本当に好きなことをやらないと、それを徹底的に突き詰めることはできない。好きなことをやってないと、それではうまくいかないときに持ちこたえられない。だから、他人の評価を気にする他人の人生ではなく、自分がやりたいことに突き進む自分の人生を生きてくださいというようなお話でした。

2つ目の話は、どうやって、それを見つけるのかというお話でした。馬淵さんは、夢は、「探し続けて行動し続ける人」にしか見つけることはできないというように述べられました。夢が見つけれないというのは、ほとんど全ての人が抱え続ける悩みですが、待っていれば突然降ってくるものではない。探し続けて、行動してみて、その中で、少しずつ「彫刻」のように形作られていくものだ。だから、周りに流されず、自分の興味のままに、探し続けてくださいと話されました。

私は、これをネットニュースで見つけて、プリントアウトしなのですが、ネット上でも「感動的な話だ」と大絶賛でしたよ。つまり、誰にとっても課題であり、この話が的を射ており共感できるわけです。だから、皆さんにも当てはまるはずですよ。

ぜひ、皆さんも全文を読んでみてください。参考になりますよ。

さて、冒頭に2つの社会貢献の方法があると考えていると言いましたが、もう1つの方法について話します。

私は、このことも非常に大事だと思っています。これは子どもでも、高齢者の方でも、私たちのように仕事についている者でもできることです。

それは、今の立場で周りの人間や社会のために、小さなことでいいから、できることをすることです。背伸びしすぎなくてもかまいません。

私の家の近くに毎朝日が昇る前に公園の掃除をしているおばあさんがいます。真夏も真冬も一日も休まずにです。子供たちが公園で安心して遊べるように、誰も見ていない暗い中で掃除をされています。本当に頭が下がります。私は、あまり何もできていない。しかし、何かの役に立てる機会があればやりたいと思っています。皆さんも、できる時にできることをすることを心がけてほしいです。

さらに、もっとささやかではありますが、周りの人に誠実にやさしく接することです。周りの人とは、家族から始まり、友人、町ゆく人まで。他人に自分ができることをすることで、その相手は何かを受け取ります。受け取ったものは、また違う人と渡っていくでしょう。誰かにやさしくするとその相手は違う誰かにやさしくする。「やさしさのリレー」というのでしょうか。そういうことも、貢献する1つの方法だと思っています。

さて、明日から夏休みです。そのことで、最後に、2つお願いをしておきます。

1つ目です。与えられた時間割をこなす日常と違い、明日からは自分で時間割を決めるのです。6週間あれば、普段できないことがやりきれます。でも、漫然と過ごせば、何も残りません。何を、どうしていくのか、今日決めましょう。今日決意して明日を迎えましょう。

3年生は進路実現に向けた勝負となる夏休みです。

大学受験の前の1か月、就職試験前の数週間、努力しても、しょせん、その期間の中だけの伸びしかありません。目標に向かって、長期間努力するから、大きく成長するのです。

1, 2年生も同じです。学業、部活動、そして、普段できないことにもチャレンジしてください。経験は人を裏切りません。

そして、2つ目。私は入学式で1年生には話しました。命、体を大切にしてくださいという話です。

交通事故などの事故に気をつける、ということはもちろんです。

人間は、時に、つらく絶望的になることがあります。全てを投げ出したくなるほど辛い気分になることもあります。その時は、ご家族、友達、先生ほかいろんな人を思い出してください。助けて欲しいと手を出せば、必ず誰かがその手を握り返してくれます。皆さんのまわりには、思いやりの気持ちを持った人がたくさんいるのですから。

助けを求めることができる人でいてください。そして、助けてあげられる人であってほしいと思います。

皆さんが元気に、達成感を持って、9月の始業式を迎えられることを心から願っています。